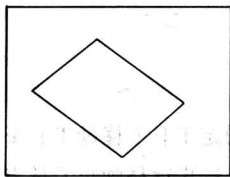
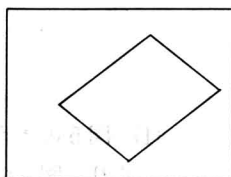


- 「よこ」が平行四辺形に等積変形したとき、平行四辺形のどこにあたるかを見させる。
- (2) 説明したのち、板書の図1に「高さ」、「底辺」を記入する。
 - (3) 長方形のたて、よこを着色しておくといよい。
 - (4) 長方形の面積 (たて) × (よこ) は平行四辺形に等積変形すると (底辺) × (高さ) になっていることに着目させる。
 - (5) 板書の図1, 図2を用いて長方形の (たて) × (よこ) は平行四辺形の (底辺) × (高さ) と同じであることを再度説明し、平行四辺形の面積を求める公式を板書する。

TP 5



TP 6




- (1) TP 5, TP 6を投影しながら、平行四辺形の底辺、高さを指摘させる。(どれを底辺とするかを決めておくことが必要である。)
- (2) 底辺の長さ、高さを与えて面積を計算させる。

(3) 学習課題をは握させる場面での活用例

- ◎ 中学校第2学年
 - 単元名 四角形
 - 本時のねらい
 - ・ 平行四辺形の性質の証明を理解させる。

指導過程

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点	OHPの活用
1. 基礎的事項の復習 (1) 平行線と同位角, 錯角 (2) 三角形の合同条件	○ 二つの三角形が合同であることを記号を用いて記述させる。	TP1, TP2 TP3, TP4 
2. 本時の学習内容 (1) 平行四辺形の性質と論証		
3. 平行四辺形の定義 (1) 台形の定義 (2) 平行四辺形の定義	○ 平行四辺形の定義と性質の区別ができない生徒がでてくるので、ここで平行四辺形の定義をしっかりと握らせる。	TP5 TP6
(3) 平行四辺形の定義を記号を用いて表す。		